

短期集中サービスの導入及び事業の成果

防府市 クリーンセンター

(元高齢福祉課 第1層SC)

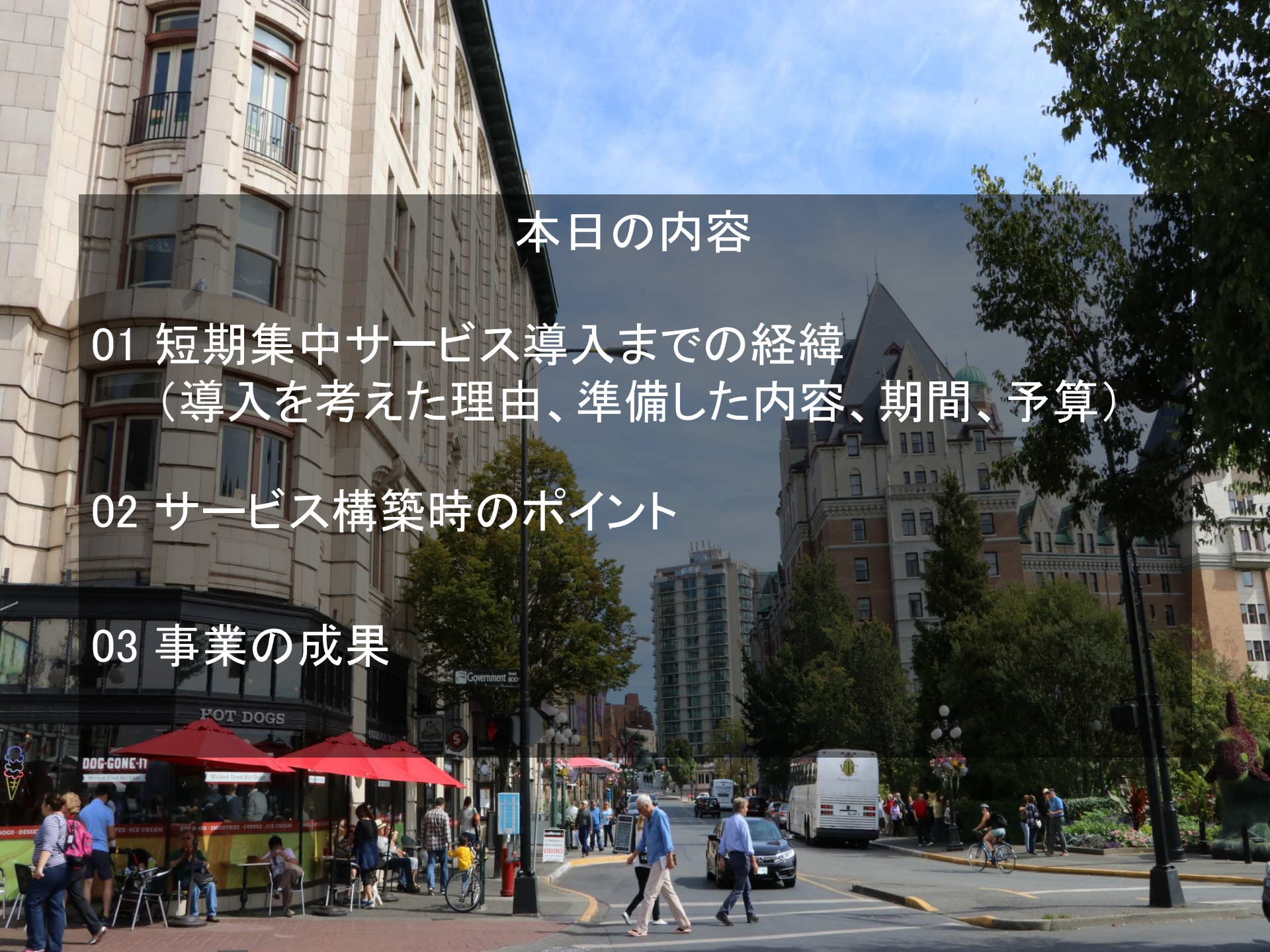
三輪 徹郎

本日の内容

01 短期集中サービス導入までの経緯
(導入を考えた理由、準備した内容、期間、予算)

02 サービス構築時のポイント

03 事業の成果



01 短期集中サービス導入までの経緯 (導入を考えた理由)

防府市の総合事業移行後の地域づくりの取り組み

さまざまな「通いの場」と互助への発展

「軽い体操」は地域にに応じていろいろ

- いきいき百歳体操 (高知市)
- シルバーリハビリ体操 (茨城県)
- 元気でまっせ体操 (大阪府大東市)
- ころばん体操 (荒川区)
- KOTO生き粋体操 (江東区)
- ひろばde体操 (吹田市)
- いきいき公園体操 (大田区)
- etc . . .

外で実施
外で実施

人々が集まる通いの場は互助の基盤ともなる。

+ 多世代交流

暮らしのサポートセンターサクス (福岡県福津市)

高齢者の助け合いの拠点。
イベントを通じた子どもたちとの交流。
持ち込みOKのBar(じっちゃん婆(Bar))を開催。

+ 困りごとと手助け

幸せます健康くらぶ (山口県防府市)

商業施設での介護予防教室+買い物支援
+送迎サービス。地域団体、介護事業所、社会
福祉法人、企業が協働して運営。



互助を見つける | 参考事例

住民ボランティア (山口県萩市、山口県防府市の例)

一般的に「自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為」を指す
ボランティアには、「自主性(主体性)」、「社会性(連帯性)」、「無償性(無給性)」等の特徴が挙げられる

むつみ愛サービス (山口県萩市)

- 地域住民による20~80歳代までのボランティア組織。
- 花見や餅つきなどの世代間交流イベント、サロン、各種教室等を開催している。
- 生活支援の主な内容としては、送迎支援、ゴミ出しや灯油入れ、雪かき、蛍光灯の交換等。



送迎サービス

買い物代行

ほうふ・てごねっと (山口県防府市)

平成30年6月~10月テスト実施。平成31年度も継続予定。

- 介護専門職が把握する高齢者の困りごとを市が受け付け、地域団体や個人ボランティアに依頼し解決する仕組み。
- 困りごとは高齢者の自立支援に資する保険外サービスや訪問サービスの効率化に繋がるものに限定。
- 介護専門職と地域住民をつなぐことで地域活動を活性化し、高齢者の生きがい創出・介護予防・健康増進を推進する。
- 平成31年度から活動に対しボランティアポイントを付与する予定。



防府市の取り組みが2つ紹介されている

➡総合事業がうまくいっている？

しかし…

基準緩和型サービス(サービスA)



基準を緩和し単価を下げたのみ

短期集中サービス(サービスC)



スポーツジムに委託(運動中心のサービス)
利用者はほぼいない状態

ほとんどの高齢者が現行相当のサービスを利用していた

防府市の特徴（平成30年度時点）



軽度の要介護認定者が非常に多い！

軽度の認定者の通所サービスの利用が非常に多い！

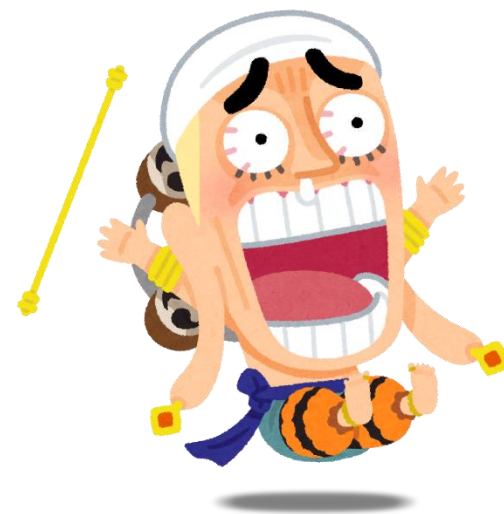
軽度の認定者が悪化する可能性が全国平均より高い！

お守り認定者が非常に多い！

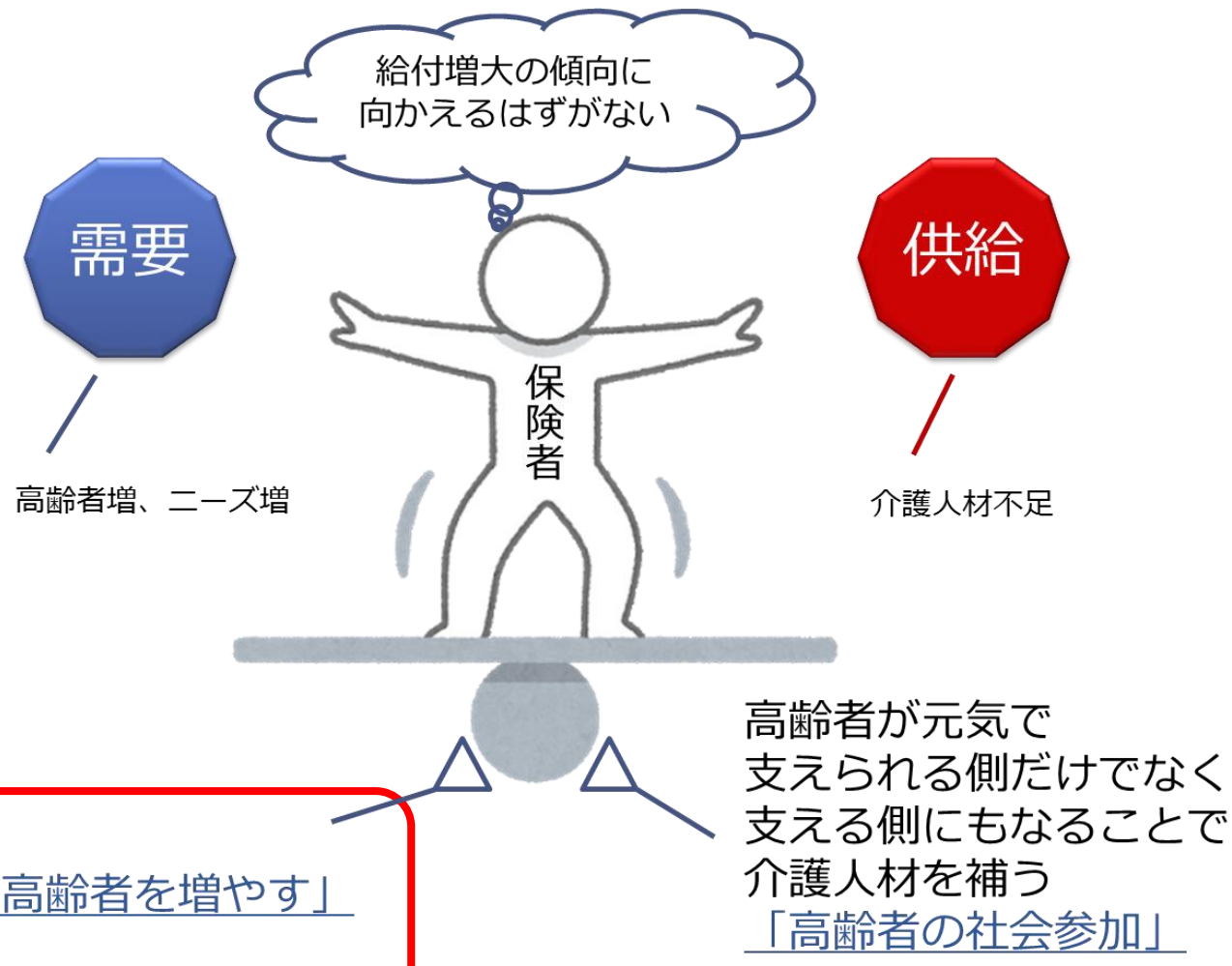
防府市の給付費等の見込み（平成30年度時点）

	2018年	2025年
●給付費	102億円	120億円(+18億円)
●市税負担	12.8億円	15億円(+2.2億円)
●保険料	5,779円	7,280円

★介護人材は足りるのか？
サービスの質は？
我々は何のために事業を
しているのか？



本当の課題は何？！



元気になる仕組みが必要



予防給付型サービスでは元気になっていない



短期集中サービスを予防事業の軸にしよう

01 短期集中サービス導入までの経緯 (準備した内容、期間、予算)

防府市の高齢者支援について

令和3年1月から
スタート!

～防府市の高齢者支援が変わります～

防府市の高齢者支援は「住み慣れた地域でいつまでも普通に暮らせる幸せの提供」を目標に「短期集中予防型サービス」を中心としたサービス体系が変わります。

介護サービス等の支援が一度必要になった人でも「元の生活に戻る」ことを目指す仕組みを構築しました。

明らかに介護が必要な人はこれまでどおりの介護サービスを利用していただきます。

①相談窓口

生活での困りごとや身体の状態を詳しくお聞きしたうえで、地域包括支援センターと早期に関わる体制を構築し、必要な人へ適切な支援を行います。



②訪問アセスメント

介護サービスのプロであるケアマネジャー等とリハビリ専門職が自宅を訪問し、生活の様子や身体の状態を確認。**元の生活を取り戻すための適切な目標を提案**します。



③短期集中

予防型通所サービス

～一人ひとりに合わせたサービス～

サービス利用日以外の自宅での過ごし方と、現状の課題や今後の目標を話し合う面談を中心とした3か月間のサービスです。アセスメントで設定した目標を達成し、サービス終了後自信をもって「元の生活に戻る」ことを目的にしています。



短期間で
機能・自信
を回復し地
域へ

④地域とのつながりの場

～やりたいことを自分で選ぶ～



高齢者の生きがいと健康維持のため、社会参加の場を整備し、すべての高齢者が「お互いに支え合うことができる」仕組みを構築しています。地域活動だけでなく、趣味活動やスポーツ、ボランティアや就労等、好きなことを自分で選択し、自信を持って地域で生活してもらいます。

本格実施までの準備の内容

- ・ 専門職と勉強会（8回程度）→サービス構築に向けた検討委員会
- ・ 各地視察（生駒、寝屋川、豊明等）
- ・ 外部講師による市内事業所等への研修実施（自立支援の考え共有）
（株）TRAPE、寝屋川市、佐々町、医療経済研究機構等）
- ・ 窓口の体制変更、リハ職訪問アセスメントのテスト実施等
（短期集中サービスにつなぐまでの体制整備）
- ・ 短期集中サービスのモデル事業実施（令和元年度）
- ・ 事業所への説明会等開催（短期集中サービス等）
- ・ 住民や医師会、病院等への説明（短期集中サービス等）

本格実施までにかかった期間

【防府市の場合】

- ・平成30年7月から専門職との勉強会や先進地視察を開始（11月頃モデル事業のための予算の確保）
- ・平成31年9月から短期集中サービスのモデル実施
- ・令和3年1月から総合事業改正、短期集中サービスの本格実施

※コロナの関係で説明会等が開催できず本格実施が遅くなった。
予定では、令和2年6月～10月での本格実施を目標にしていた。

「事業設計→モデル実施→事業所への説明→本格実施」
約2年程度で行うことができる。



本格実施までにかかった予算

【防府市の場合】

- ・ 短期集中サービスアドバイザー費用
- ・ 作業療法士技術的支援費用
- ・ サービス検討委員会謝礼
- ・ リハ職訪問アセスメント謝礼
- ・ 短期集中サービステスト事業費
- ・ 講師費用等

合計 約650万円



02 サービス構築までのポイント

行政職員だけで制度を考えない

- ・ 防府市では、サービス事業所の職員やリハ職等の専門職が**制度形成に参加します。**
関係者で議論をしながら**テスト**を繰り返して形にします。
- ・ この過程で自然に**専門職との規範的統合**を図れるため、事業者と行政の合意形成を行うことができます。
- ・ 行政が勝手に準備した制度ではうまくいかないと考えています（行政は舵取り役）。



地域の高齢者（支援を要する）の実情を一番良く知っているのは国や市役所ではなく**サービスを提供している人**

行政の古い考えは捨てるべき

行政だから...



市役所

※そもそも指導する立場なので
ざっくばらんに話にくいはず



サービス事業所団体・専門職団体等

民間の人とは...

市役所職員の三輪、〇〇サービス連絡協議会会長の□□という立場で議論するのではなく、三輪が□□さんと話をすることが重要。立場は関係ない！フラットな関係で、いいものを作っていく仲間というイメージ。
雑談からいいアイデアが生まれることが多い。

個別事例の検討に行政職員も参加する



個別事例の検討に行政職員が参加するメリット

現在のサービスが効果的に機能しているか
支援方針のすり合わせ（保険者が目指したい支援の共有）
他に必要な事業（制度）がないか

議論を繰り返すことで関係者と理念の共有ができる。

➡ 関係者との関係性の構築



事務職だから…



高齢者の状態像が分からない…

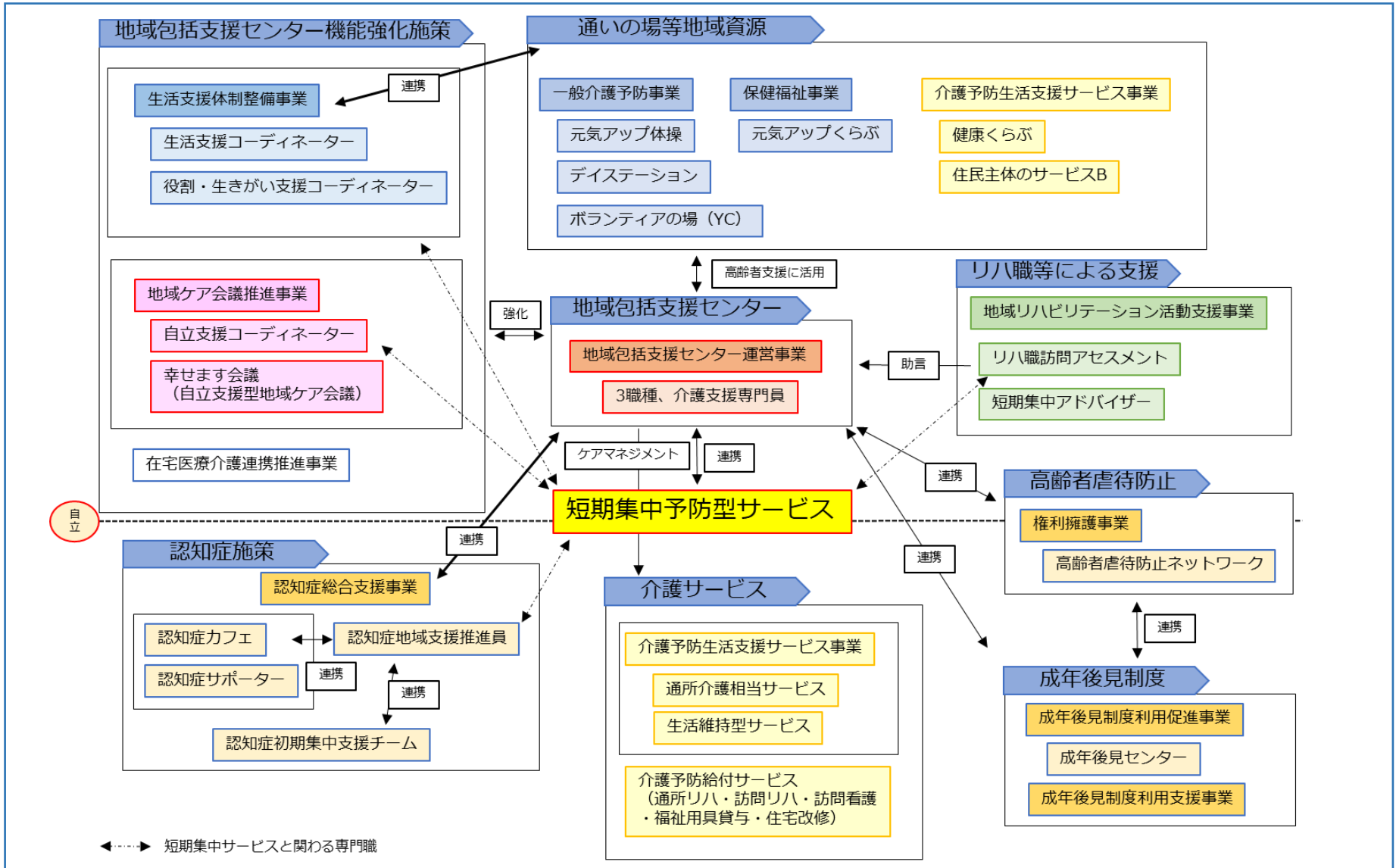
分からないから専門職の皆さんにお任せします！！

NG

地域やサービスを利用している高齢者と触れ合う
専門職に疑問点を積極的に尋ねる

➡行政職員として見識を深める努力は重要

事業全体の連携を意識すること



地域包括支援センターと短期集中サービスを中心とした防府市の地域支援事業の連携図

03 事業の成果

改善率（令和5年1月1日市広報より）

いつまでも
元気に

短期集中サービス 3か月 ～あきらめちゃいけない！～



『短期集中サービス』は、介護サービス等の支援が一度必要になった人でも「元の生活を取り戻す」ことを目標に、令和3年1月から運用を開始した取組みです。県内外から注目されている先進的な取組みの成果を、利用者の声とともにお届けします。



國弘 アイ子 さん（95）
短期集中サービスの利用開始で前向きに！



足の骨折を乗り越え、家族4人で外出できた！

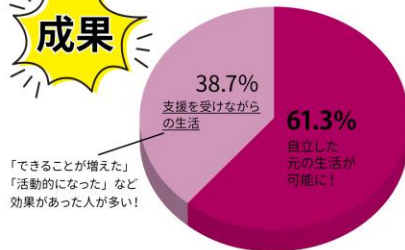
自宅のジムに顔を出し、ベンチプレスもできるように！

まだまだ
私もできる！

國弘さんは、家族でトレーニングジムを経営しながら元気に過ごされていましたが、令和3年8月に左足を骨折。治療後も、安定した歩行が難しく、外出できなくなっていました。そこで、短期集中サービスを利用し、少しずつ活動量を増やしたことで元の生活を取り戻すまでに回復されました。「他の人にも、『もう年だからダメ』と諦めず、今後の人生を笑って過ごせるようにこのサービスを利用して欲しいです。」と笑みがこぼれます。

数字が示す
サービスの
成果

サービスを受けた約260人の
うち60%以上が元の生活に！



「できることが増えた」「活動的になった」など効果があった人が多い！

サービスは 専門職との面談が中心

利用無料！
機材を使った
激しい運動なし！

——サービス提供者の声

「たくさん話して、気づけば元気に！」

短期集中サービスでは、「畑仕事がしたい」「買い物へ行きたい」など、それぞれが事前に決めた目標の実現を目指します。

サービス時間は1週間のうち2時間だけ。残り6日と22時間の自宅での過ごし方を一緒に考えます。

また、本人の実践と一緒に振り返り、評価したうえで、次週に向けた取組み（活動）について適切に助言します。

サービスを重ねるたびに、「まだできる」自分に気づくことで意欲が向上し、日々の活動量が増えます。3か月のサービスで生活や趣味のことをたくさん話して、日々の生活を向上させ、自分でも「気付かないうちに」元を取り戻しましょう。



サービス提供事業所
老人保健施設 尚歯堂
作業療法士 月成 純 さん

どうして元気になるの？

専門職との面談で…



元気になる習慣が身に付く！

どんな人が利用できるの？

日常生活に少し困りごとが出てきた人（要支援者等）が対象です。

元氣になりたいと思っている人なら誰でも元氣になる可能性があります。

「こんな自分ではダメ」と考えないで、相談してみてください！



私たち地域包括支援センターへ 「お気軽にご相談を！」

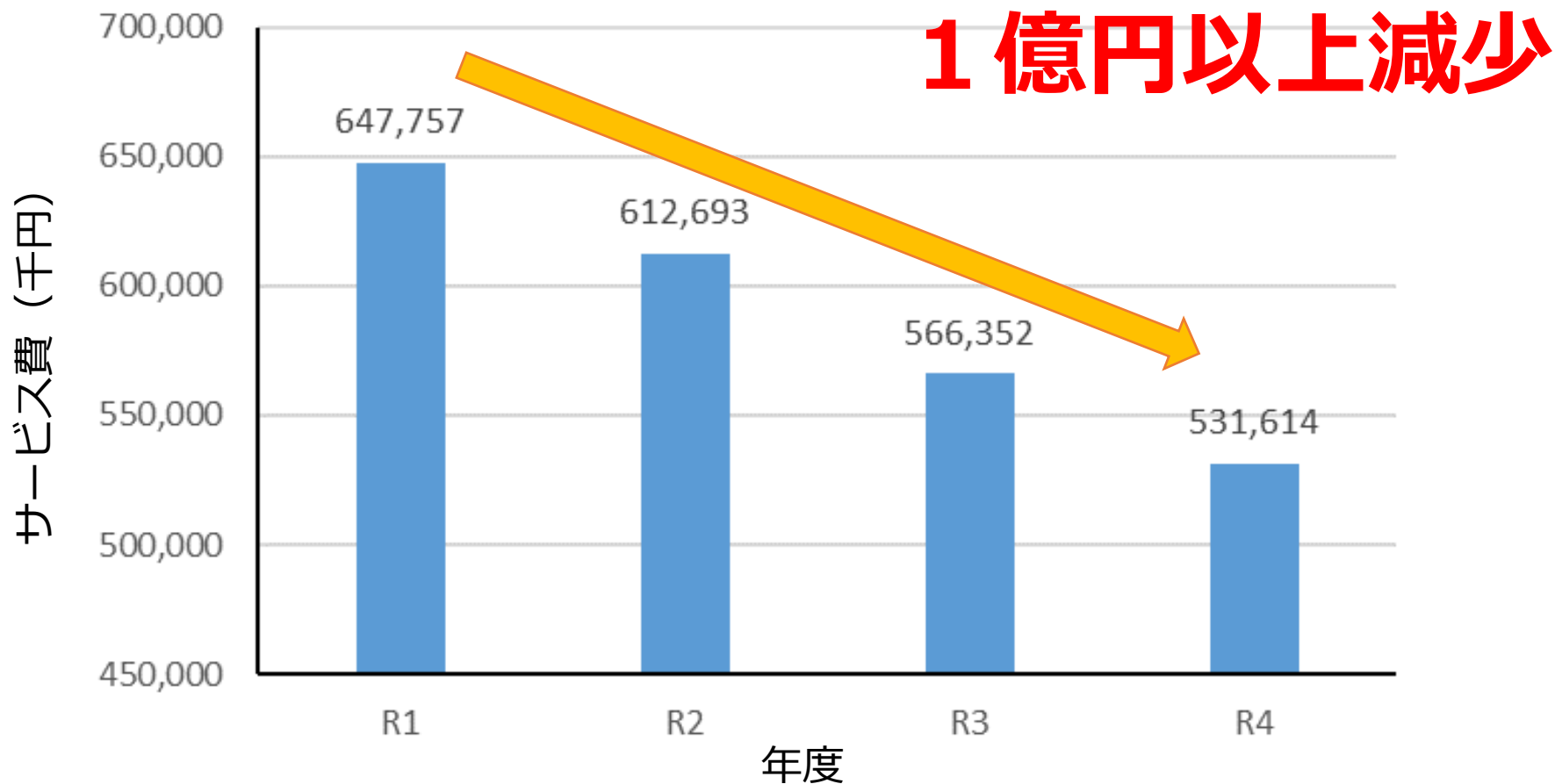
短期集中サービスで、國弘さんのように元氣になられた人がたくさんいます。これからも多くの人が、好きなことをもう一度できるよう全力でサポートします。サービスに関心がある人はお住まいの地域の包括支援センター（P15）または市高齢福祉課へお気軽にご相談ください。



☎ 高齢福祉課 地域包括ケア係（1号館1階）☎ 25-2964

サービス費への影響

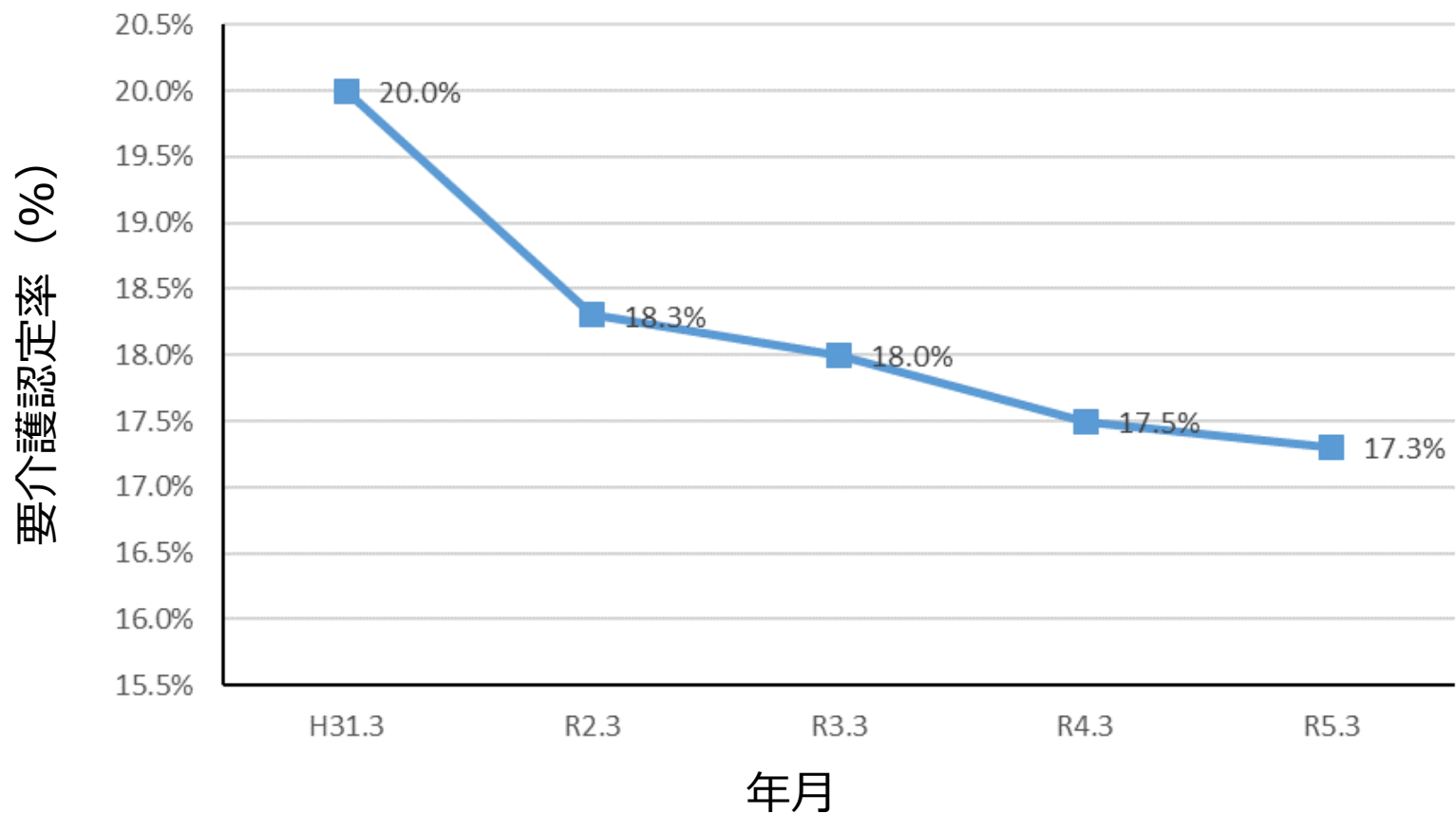
要支援者等に対する在宅サービス費推移



※防府市決算書より作成

要介護認定率への影響

防府市の要介護認定率の推移

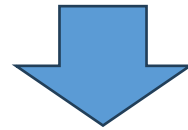


※見える化システム（防府市）より作成

要介護1への影響

令和4年度	計画値	1,660人
	実績値	1,588人

(見える化システムより)



実質72人減と同様
要介護1の認定者数にも少しずつ影響を出している

※計画値…防府市介護保険事業計画より
実績値…見える化システムより

ご清聴ありがとうございました

防府市職員

元 高齡福祉課主任

(総合事業、生活支援体制整備事業、
地域ケア会議推進事業等を担当)

元 第1層生活支援コーディネーター

三輪 徹郎

temikaigo@gmail.com

質問があればこちらのアドレスにお願いします